

令和5年 第7回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和5年 7月13日(木)

場 所 武豊町役場 第1会議室

出席委員の氏名

教 育 長 榊原 寛二

教育長職務代理者 永田 淑子

委 員 浅野俊太郎

委 員 堤田 綾子

委 員 小藤 省吾

出席職員の氏名

教 育 部 長 近藤 昭子

生涯学習課長 伊藤誠一郎

町民会館事務長 藤井 信介

中央公民館長 内田 大介

町民会館事務長補佐 栗田 宗広

給食センター所長 青木 隆

学校教育指導主事 神谷 俊輔

学 校 教 育 課 長 森田 光一

ス ポ ー ツ 課 長 佐伯 広行

歴史民俗資料館長 山下 恵広

生涯学習課課長補佐 神谷 芳美

スポーツ課課長補佐 石川 恭太

学校教育課課長補佐 藤井 千絵

学校教育指導主事 小田島 健

：欠席者（会場変更のため、課長補佐級は学校教育課のみ出席）

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに第6回定例会 会議録の承認

（教育長） 出席委員3名を確認し、会議の成立及び第7回定例会の開会を宣言する。

（教育部長） 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

（教育部長） 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

（教育部長） それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

6月 8日(木) ・町定例教育委員会

・学校予算ヒアリング

6月 9日(金) ・武豊中学校訪問（永田委員、堤田委員）

6月14日(水) ・社会教育審議会

6月15日(木) ・衣浦小学校訪問（浅野委員、小藤委員）

6月16日(金) ・文教厚生委員会

- 6月20日（火） ・ 議会閉会
- 6月22日（木） ・ 武豊町いじめ問題対策連絡協議会
・ 武豊町不登校対策協議会
- 6月23日（金） ・ 富貴小学校訪問（堤田委員、浅野委員）
- 6月24日（土） ・ 水辺クリーンアップ大作戦（富貴ヨットハーバー）
・ 民踊講習会
- 6月27日（火） ・ 学校運営研究会
- 6月29日（木） ・ 武豊町生徒指導推進連絡協議会
- 7月 5日（水） ・ 県市町村教育委員会連合会総会（刈谷市）
- 7月 6日（木） ・ 知教協幹事会
- 7月 7日（金） ・ 5町教育長会（武豊町）
- 7月11日（火） ・ 制服改定プロポーザル準備委員会
（第2回制服改定委員会）
- 7月13日（木） ・ 町定例教育委員会
・ 夏の交通安全キャンペーン

（教育部長） 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

（教育長） それでは議案第21号武豊町教育委員会委員の任命について、事務局お願いします。

議案第21号 武豊町教育委員会委員の任命について（案）

（学校教育課 課長補佐） 資料について説明

永田淑子委員の任期が令和5年9月30日で満了となります。新たに鋤柄佐千子氏を令和5年10月1日から令和9年9月30日までの期間、委員としてお願いしたいです。

（教育長） ご質問もないようですので、ご承認いただけますでしょうか。

<全員挙手>

（教育長） 本案を承認可決することといたします。

（教育長） それでは議事を終了し、進行を教育部長にお願いします。

（教育部長） 報告事項に移ります。

5. 報告事項

(1) 学校の近況について

(指導主事) 各校の近況 小学校の林間学校予定等

(2) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料1について説明(7~10月)

6. その他

(1) 町民会館より

(町民会館事務長)

・ゆめプラ通信 等 各種事業について

(2) スポーツ課より

(スポーツ課長)

・7月6日~11日 ゆめクリンの設備停止(蒸気供給)に伴い、CCNCプールたけとよも中止。3日間小学校プール授業も行えず。2小学校に影響。

(3) 生涯学習課より

(生涯学習課長)

・吉町田湿地植物群落 一般公開について 7月23日
8月5日、6日 9月9日、10日 9時~14時一般公開予定。

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

・7月5日に、愛知県市町村教育委員会連合会の定期総会・研修会がありました。その研修会の中で、日本講演新聞の編集長である、水谷もりひと様が講演されていたことを紹介します。演題は、『感性のアンテナを立てて、情けに報いる時代を生きぬく』です。

講演の中では、大きく4つの観点からお話がありました。一つ目は「のこぎりの歯を磨こう」です。ジャーナリストも学校の先生も、商売道具は自分自身なので、他の人によい影響を与えられるよう自分を磨くことが大切である、というお話でした。研修の中で、自分磨きをテーマにお話をされたことが、新鮮で印象的でした。

二つ目は「学ぶことに対するとしめきを」です。学ぶことの面白さ、知らなかったことを知った喜びを伝えてほしい、というお話でした。教えるという観点ではなく、ワクワク・ドキドキを子どもたちが体験できるような、学びの機会を設定できるとよいのではないかと思います。

三つ目は「素敵な思い込みで生きていく」です。現代社会では、自分には才能がない、よいところがないなど、ネガティブな思い込みをもっている子どもが多いと言われています。それは、ネガティブな思考につながる言葉を、周囲の人間、特に大人が掛けてい

るからではないか、というお話でした。例えば、家庭の中で親が子どもに、「何をやっているの、駄目じゃない」という言葉かけをすることがあるかと思います。これを「何をやっているの、本当にあなたは面白い子ね」と言い換えをすることで、ネガティブをポジティブに変えることができます。こういったポジティブな言葉かけを続けることで、自分自身にプラスのイメージをもつことができ、子どもは伸びていくのではないかと思います。

最後は「あなたがどんな子でもいい。大好きという環境に、先生はなる」です。先生が子どもを受容するとともに、先生はあなたの味方であるというメッセージを、子どもへ届けられるとよいというお話でした。先生が子どもと一対一で向き合い、味方になることは、とてもよいことなのではないかと思います。

- ・ 最近は、特に暑さが厳しく、熱中症のニュースがよく聞かれます。先日、ある学校の行事の際に、熱中症指数は厳重警戒までなっておらず、子どもたちは水筒を用意して熱中症に注意していたのにも関わらず、運動場にいた19人の児童が熱中症で搬送されたという報道がありました。気象変動が激しくなっている、異常気象が起こっている昨今だからこそ、「数値が〇〇だから気を付ける」のではなく、「常日頃から自分の身を守るために気を配らなければならない」ということを、学校は子どもたちへ教える必要があるのではないかと思います。

(教育委員)

- ・ 不登校の子が、修学旅行や林間学校等の行事をきっかけに、登校できるようになったというお話を聞くことがあります。なかなか学校に足が向かない子どもたちにとっても、宿泊行事は楽しみであり、それをきっかけに登校できるということは、行事がもつ役割というのは、非常に大きいものであると感じます。今後も大切にしていきたいです。
- ・ コロナ禍で実施を見送っていた職場体験学習を、4年ぶりに実施するという報告がありました。職場体験のやり方は学校によって様々で、中には人数の関係で、希望する職種とは違う所へ行く生徒もいるかと思います。それでも、これまで知らなかった世界を学び、体験することは、とてもよい経験となることでしょう。宿泊行事と同様に、子どもたちにとって意義のある活動が再開され、実施できるようになり、うれしく思います。
- ・ コロナウイルス感染症については、報道で大きく取り上げられることも少なくなり、子どもたち自身も、少しずつ意識しなくなっているように感じます。しかしながら、まだマスクを着用している子も一部で見かけます。マスクをすることで安心する、マスクをするのが当たり前になっているというように、いまだにコロナ流行前には戻ることができていない部分があるのかもしれませんが。夏休みに入ると、お祭りや花火といった楽しいイベントがたくさんあります。子どもにたくさんの楽しみを経験できるよう機会を設けるとともに、我々大人は、これ以上コロナウイルス感染症が流行しないように注意を払い、家庭でルールを決めるなど上手に病気と付き合いながら、コロナ禍前の生活を取り戻すことができればよいと思います。

(教育委員)

- ・ 全国ニュースで、小学校の裏門から自動車が突入してきて、児童がけがをしたという報道がありました。開かれた学校の実現と、子どもたちにとって安心・安全な学校づくりの両立という、難しい課題ではありますが、各校で対応を考える必要があると感じます。
- ・ 武豊町いじめ問題対策連絡協議会・不登校対策協議会の中で、スクールソーシャルワーカーの勤務について、紹介がありました。武豊町では、2名の担当者が武豊中校区と富貴中校区をそれぞれ担当し、不登校や家庭環境、人間関係といった、児童生徒に関わる様々な問題に対して、面談や家庭訪問を通じて、学校と協力して支援しているとのことでした。それぞれが担当する学校の規模の違いから、受け持つ子どもの母数に差ができてしまうことが気になりました。同じワーカーが小学校から中学校まで継続支援できることはメリットだと思いますが、担当する人数が多いと負担になってしまうこともあるのではないかと感じます。働きやすい環境を整えるという観点から、担当を考えていただくのもよいのではないかと思います。
- ・ 夏休みに入り、子どもたちが思いを発露する場が少なくなってしまうことが懸念されます。現代の子どもたちは、スマートフォン、中でも電話ではなく、メールやSNSを使って思いを伝える場面が多くなることが予想されます。そういったメディアを用いたセーフティネットがあるとよいと考えます。
- ・ 1学期に学校訪問で伺ったある学校では、不登校の子どもがほとんど居ないというお話を聞きました。是非その学校の取組を他校でも取り入れ、目標にできるとよいと思いました。
- ・ 生徒指導推進連絡協議会において、武豊中学校の体育館で講演をお聞きする機会がありましたが、かなり暑い日でした。一緒に話を聞いていた武豊中の生徒は、皆水筒をもってきていましたが、飲んでいる姿を見ることは少なかったです。講演の最中にお茶を飲むのは失礼だと考える生徒も居たかもしれません。教師の側から、ある程度声掛けをするとともに、一斉に給水する時間を設ける等の配慮が必要だと感じました。現在体育館にも空調設備の設置工事が行われており、今後は大丈夫かもしれませんが、気に留めていただければと思います。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和5年 月 日
署 名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者.....神谷 俊輔